ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

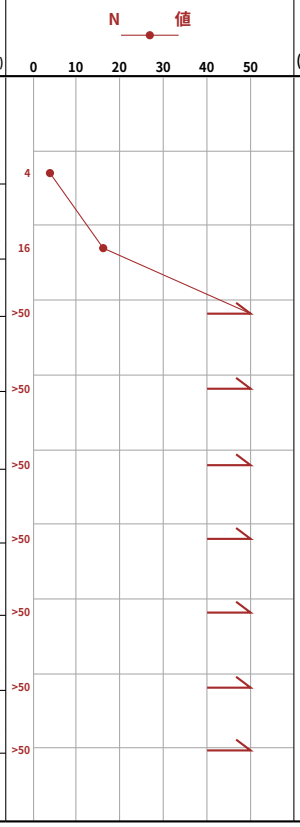
シートNO.

ボーリング名	No.1			調査位置						北　緯	36 ° 42 ’ 35.4770 ”
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所					調査期間	2009-12-24 ～ 2010-01-08			東　経	139 ° 40 ’ 34.7180 ”
調 査 業 者 名				主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	375.98 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	試 錐 機		ハンマー落下用具			
総 掘 進 長	9.06 m	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 27.00 °	使用機種		エンジン		ポ ン プ			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	375.33	0.65	0.65		表土 (SF)	黒灰			礫混じりシルト。粘着性は低位。径50～150mm程度の礫が点在する。		
1 2	373.28	2.05	2.70		礫混じり火山灰質シルト (MV-G)	暗灰褐		中位	含水量-中位～少位。粘着性-中位～少位。深度1.00～1.65m付近は礫分を含まない。		
3 4	370.78	2.50	5.20		礫混じり火山灰質砂 (SV-G)	赤灰	非常に密		やや固結する。含水量-中位～少位。深度3.50m付近は含水量が多位。径10～40nmm程度の礫が混じる。		01/06 5.20
5 6 7 8 9	366.92	3.86	9.06		玉石混じり火山灰質礫 (GV-B)	暗灰褐	非常に密		最大礫径50cm内外の巨石が介在する。径10～40nmm程度の火山礫が主体。掘進長5～25cm程度(推定礫径10～50m内外)の粗石～巨石が混じる。マトリックスは火山灰質砂。やや固結する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2 / 13	1 / 7	1	4 / 30	4
1.45					
2.15	5	5	6	16 / 30	16
2.45					
3.15	50 / 7			50 / 7	>50
3.22					
4.15	50 / 7			50 / 7	>50
4.22					
5.15	40	10 / 2		50 / 12	>50
5.27					
6.15	50			50 / 10	>50
6.25					
7.15	50 / 6			50 / 6	>50
7.21					
8.15	50 / 7			50 / 7	>50
8.22					
9.00	50 / 6			50 / 6	>50
9.06					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日